

文学部教官が学友を恫喝！ 戦争推進の田中優子体制を打倒しよう！



1943年10月21日、東京・明治神宮外苑
競技場で行われた「学徒出陣壮行会」



戦争反対の学生は
大学から叩き出せ

学生は戦場に行け

法大総長・田中優子

10・21 国際反戦デーへ

みなさん。いよいよ来週火曜日10月21日に「10・21国際反戦デー」が行われます。イラク・シリア空爆と安倍政権による参戦を絶対に許さないために今こそ「戦争絶対反対」の声をあげよう。

香港の学生は「民主化」を求めて、政府や右翼の弾圧・襲撃を跳ね返して不屈にバリケードストライキで闘い続けています。ロンドンをはじめ全世界で青年や学生が「戦争反対」「生きさせろ」のデモ・ストライキに立ち上がっています。

10月21日は「学徒出陣壮行会」が行われた日であると同時に、かつて私たちの先輩が「ベトナム反戦」を掲げてストライキで闘い、それが全世界に波及してついにはベトナム戦争を阻止した歴史的な日です。

いまイラク・シリアで始まっているのは石油利権などを求める1%の連中のための侵略戦争です。不正義の侵略戦争を止めるため、全世界の労働者・学生と団結し、法大・国会・渋谷で戦争阻止の大デモをやろう！

▼「文連に関わるな」と教官が恫喝

全世界で反戦闘争が大爆発している中、それに真っ向から敵対しているのが法大・田中優子総長です。

法大当局は7月23日付の「法政コンパス」で、「迷惑行為のないキャンパスへ」と題する文章を2ページ掲載し、そこで改めて文化連盟・全学連に対する敵意を剥き出しにしています。

さらには9月後期開講後、この文章を文学部の教官が授業で配布し、学友に対して「文化連盟と関わるな」と恫喝を加えたのです。断じて許せません。

「法政コンパス」の内容自体もデマとペテンに満ちあふれた非常に許し難いものです。「大学の自治」「学問の自由」を語りながら、08年文化連盟非公認化の時には反対の声を一切聞き入れず（文連の出した質問状には一貫して法大当局は「回答しないのが回答」と答えてきた）、挙げ句の果てに

【10/21 国際反戦デー闘争】

10月21日(火)13時半～ 法政大学包囲デモ

15時半～ 国会デモ※JR新橋駅・SL広場集合

18時半～ 渋谷デモ※代々木公園・ケヤキ並木集合

イラク・シリア空爆弾劾！大学の戦争協力阻止！安倍政権打倒！

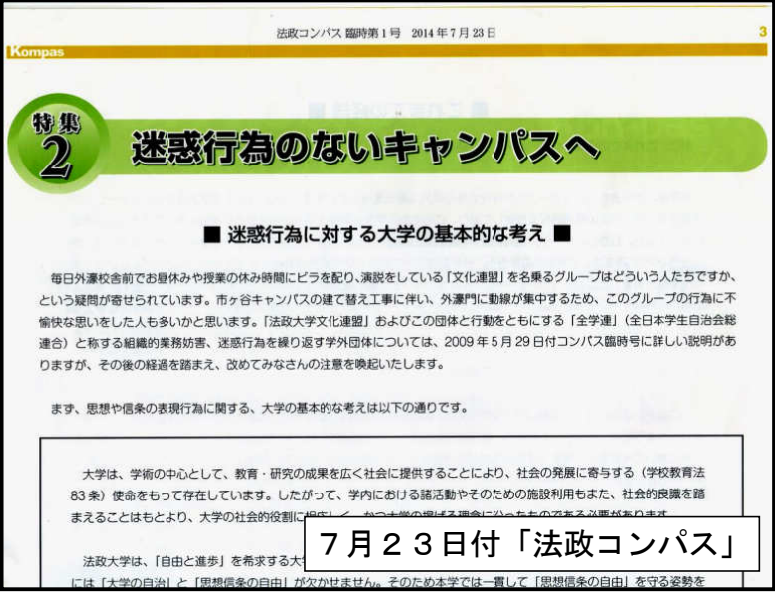


は「ジャージ部隊」などの暴力偽装職員を差し向けたり「文化連盟に残ったら予算をやらない」と恫喝を加えてサークルを切り崩したりしてきたのはどこの誰だ！（詳しい経緯などは文化連盟ブログ08年記事参照）

この8年半、文化連盟を非公認化し126人を逮捕させ13人を退学・停学処分をにし、学生の団結を徹底的に奪ってきたのが法大当局です。ビラを受け取った学生からビラを奪い取る、文化連盟と関わった学生にはガードマンが入構チェック、学内に設置された200個の監視カメラ、当局御用団体（学祭実・CSK）をつかった学内規制強化・・・数え上げたらきりがありません

こうした連中こそ、最悪の戦争推進者です。戦争反対を訴える文連委員長・武田雄飛丸君を無期停学処分にして「暴行」でっち上げで逮捕させ、工事まで使って学生が大学で声をあげることを弾圧する田中優子総長のあり方こそ、かつてアジア侵略のための太平洋戦争の時に哲学者の三木清（文学部教授！）を法大から叩き出し、最後は特攻隊に学生を送り出していった歴史とまったく同じです。

さらには一方で高い学費で学生を借金漬けにし、他方で



「グローバル人材育成」「アジアの工場長をめざせ」とのたまう田中優子こそ、経済的徴兵制が狙われている中で学生を戦場に送り出す最悪の先兵に他なりません。

▼田中優子体制は大破産している

「週刊ダイヤモンド」（経済専門誌、発行部数10万部）10月18日号の特集「大学評価ランキング」で法大が紹介されており、その中で『法政総長に元活動家を抜擢 批判殺到も覚悟の大博打』『「サンデーモーニング」に出演した際、内閣改造で高市早苗議員などの女性が多く入閣したことを受け、「選挙対策や支持率のためと思われるよう、頑張っていた」と発言をした。すると「極右安倍政権にエールを送るエセ左翼」であるとして、法政大の学生団体である「法政大学文化連盟」が厳しい批判を始めたのだ。』『また、学内で「10月21日にはデモを予定している。』『右からも左からも活動家に付け狙われるリスクより、宣伝効果のメリットを取った判断が果たして吉と出るか、凶と出るか。法政大は“大ばくち”を打った。』と出され、文連のビラも写真で紹介されています。

大恐慌情勢の中、法大は田中優子のメディア戦略と「スパーグローバル大学」路線で生き残ろうとしています、何の展望もないことは明らかです。追いつめられているのは法大当局だからこそ、弾圧に絶望的にのめり込んでいるのです。

今年4月25日、法大当局が予告していた「外濠門封鎖」は、学生の決起により粉碎されました。田中優子体制は凶暴ですが脆弱です。学生が立ち上がれば絶対に打倒できます。

そもそも大学の主人公は学生です。学生には戦争を止め、大学と社会を変える力があります。

10月21日、法大から全世界に反戦の声を轟かせよう！



↑10月18日号「週刊ダイヤモンド」大学特集で法大・田中優子体制が「大博打」と評価され、文連がビラ付きで紹介された

安倍戦争政治の最悪の先兵＝最末期 田中優子体制を10・21で打倒しよう！

文化連盟

法政大学文化連盟

メール：bunren08@yahoo.co.jp ブログ：http://08bunren.blog25.fc2.com/